<u>質問回答</u>

NO.	質問	回答
1	再委任等の制限の部分がよく分からないのですが、この案件は、下請けや協力会社に業務をすべて任せることは出来ないのでしょうか。調査地点が各地にありますが、すべて落札した会社内の者が業務を行わなければいけないのでしょうか。ご教授いただきたいです。	「入札説明書 10. その他 (4)再委任等の制限」の記載のとおりであり、再委任等を行う場合には様式7 (再委任等承諾申請書) により申請可能です。
2	さい」との記載があり、個人情報取扱い業務においては再々委託が想定されていると拝察いたします。 つきましては、業務本体(契約書(案)第5条が適用される分析業務	「公共調達の適正化について(平成18年8月25日。財計第2017号)」2(3)に記載のとおり、「再委託の相手方からさらに第三者に委託が行われる」ことは妨げられていません。なお、「再委託の相手方からさらに第三者に委託が行われる」際は、幣省(甲)による「書面による事前承諾」は必須ではありません。 (参考)「公共調達の適正化について(平成18年8月25日。財計第2017号)」URL: https://www.mof.go.jp/policy/budget/topics/public_purchase/koukyou/koukyou_02.htm
3	分析項目の大腸菌数は再委託可能でしょうか。	「入札説明書 10. その他 (4)再委任等の制限」の記載のとおりであり、再委任等を行う場合には様式 7 (再委任等承諾申請書) により申請可能です。
4	海上での試料採取にあたり、海上保安部申請は受託者で行うので しょうか。	御認識のとおりです。
5	傭船ですが、仕様書掲載の漁協組合への依頼は受託者で行うので しょうか。	御認識のとおりです。
6	試料採取について再委託は可能でしょうか。	「入札説明書 10. その他 (4)再委任等の制限」の記載のとおりであり、再委任等を行う場合には様式7 (再委任等承諾申請書) により申請可能です。